

社会があんちよに金もつげがで
る産業をもてはやし、額に汗して物を
作る実業をこれほど軽視するようにな
ったのはいつのころからであらう。先
日、建設関係の技能工、多能工を育成
する教育訓練機関の創立記念パ
ーティーに参加した。その会長のあい
さつに、「やはりそつであつたか」と
大きな不安を覚えた。近年、建設関係
の多能工、技能工を目指す若
者が極端に減っているそう
だ。原因は、タンピング受注
にあるらしい。タンピング受
注のしわ寄せは多くが下請
け、特に技能工、多能工に寄
せられるという。タンピング
受注した元請けの下請けパッ
シングである。その結果、そ
れらの職種が敬遠され、技能
工、多能工が集まらなくなっ
ているのだ。これは、どこ
かで囁かれている話と似通
っている。

近年、国家公務員の希望者

時評私

が減っている。かつて、東大法学部
の優秀な学生の多くは、国家のかじ取り
を現実的に担っていた大蔵省の役人を
目指すといわれた。それが、最近では
外資系の証券会社や金融機関が最も人
気が高いという。その原因の一つは、
数年前の官官接待から今日の官製談合
事件に至るまでの数々の不祥事である

治家の多くも、それに悪のりしている。
人気が落ちると公務員パッシングをす
る。国会議員数削減問題や議員年金問
題には類縁りをしたうえで、国家公務
員数削減を声高に言い、議員年金問題
は公務員年金問題にすり替えている。
ところで、小泉改革以来、国家施策
は、都市部偏重になり、明らかに多く

れば住めないような地域の人には、都
市部に移り住んでもらう。「公共投資
を真気対策や雇用策にしない」などの
意見が出ていとも聞く。農業もだめ、
公共投資もだめで田舎は何によつて生
きていけばよいのだろうか。わが国は都
市部だけで成り立っているわけではな
い。某国に不当に占拠されている竹島

である。田舎で、70歳、80歳になつて
も、わが子が帰る日を夢見、田畑を耕
しながら頑張っている人たちがいる。
これらの人も国士を守る実業の人であ
らう。人は、いったん便利な都会に住
めば、なかなか不便な田舎には帰らな
い。多くの者が、ぬくぬくと便利な都
会に住み、「金もつげのどこが悪い」

国土形成には「田舎切り捨て」から

「田舎優遇政策」への転換を

う。不祥事は断じて許せないが、多く
の国家公務員はそのようなことに手を
染めているわけではない。地道に一生
懸命、国家国民のためにその僕たろ
うと深夜遅くまで頑張っている。しか
し、執拗で不見識な一部マスコミの
パッシングに遭い、今では公務員たき
をすれば国民の快哉を博するような風
潮になってしまった。与野党問わず政

の地方・田舎が切り捨てられた。政治
家や中央の役人は、今の田舎の惨憺た
る現状やその深刻さをどれほど理解し
ているだろうか。以前、新しい国土形
成計画に関して「これまでの均衡ある
国土の発展は掲げない、地域によつて
メリハリをつける」など一見もっと
もらしい記事が載った。現在も議論が
進められている。「公共投資をしなけ

のよつな島や地域をあちこちの田舎に
つくるつもりなのだろうか。国土は、
国民皆が力を合わせて守らなければそ
の形態をなさない。その考慮もない計
画では国土形成はできない。
教育訓練風景にテオの中に、黙々と
訓練に精を出す若者がいた。彼らが鉄
筋や型枠を組むことで初めて質の高い
公共施設ができる。彼こそ実業の人

員も「ふるさと納税」などと選挙自当
ての小細工を弄さず、長期的展望に立
ち、国民の多くが争って田舎に住みた
くなるような、「田舎優遇政策」への
転換を図ってはどうか。自由競争にだ
け任せでも守れない国土形成部分を担
うのが政治の役割であらう。昔でさえ
防人や中田兵をおいて国土を守つてき
ただから。

(M)